



5 女捜査官キョウカ

不感症の反動でイキやすくなったカラダ

あらすじ

痴漢囹捜査官・鈴峰杏花は
これまでいくつもの痴漢を検挙してきた
凄腕の捜査官だった

彼女は捜査官としてのスキルや美貌にくわえて
不感症であるという
痴漢囹捜査官として最大の利点をもっていた



しかし…
とある囹捜査の途中で
怪しい男に遭遇する

その男の不思議な力によって
不感症だったはずの鈴峰杏花の体は
眠っていた性的な快感を
呼び起こされて…



今まで感じたことのない快楽の衝撃に戸惑わされ
何度もイカされ

痴漢囹捜査の最中に挿入されて
何も考えられなくなるほど
頭を真っ白にされながら中出しされるとい
う最悪な失態を犯してしまう

それはこれまで完璧に任務を遂行してきた
鈴峰杏花にとって

人生最大の屈辱だった



それからというもの
鈴峰杏花のカラダはすっかりと
変わってしまった
不感症だったカラダは
日を追うごとに敏感になっていった



ひとたび痴漢にカラダを触られると
カラダは熱く火照って力が入らなくなり
なすすべもなく犯される
そんな屈辱的な日々が1年近く続いた



ただ：
どんなに気持ちよくさせられても
一度もイカされなかったこと
それだけが痴漢団捜査官としての
最後のプライドだった

しかし1年後
パスの中で
ついにあの男に遭遇して

これまで1年間
痴漢され続けて
カラダに蓄積されていた
快感が一気に爆発して

何なの…この男!!

今までのどんな
痴漢たちよりも…

的確に…
イイところを突いてきて…!!



気持ちいい…!!

ついには気持ちいいことを
認めさせながら
イカされてしまった…



痴漢 四捜査官キョウカ

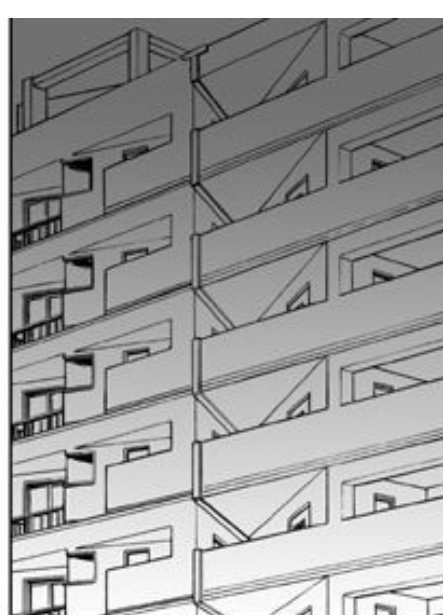
第5話

不感症からの反動で
イキやすくなってしまった
カラダ



それでも

痴漢囃子捜査官としての
プライドまでは
捨てたつもりはない



私は…

あの男に
負けてしまった…



私は今までどおり
痴漢たちを
捕まえていく

そのつもりだった



痴漢は悪

たとえば
不感症じゃ
なくなつたとしても



海岸沿いのバスに
出没する
胸ばかりを触ってくる
痴漢の情報を
受け取った私は

さっそく
図としてその場所に
向かった



あの時は
鉄柱に手を拘束されて

何時間も胸だけを
しつこく触られて



胸ばかり
触ってくる痴漢…

1年前のあの痴漢を
思い出す…

何もできなかった…



結局
捕まえることも
できなかった



いきなり挿入してきた
中年男…



〇〇線の
痴漢グループ…

ずっとイタの
ガマンしてるから
アソコがギンギン
締め付けてきて
サイコーじゃねえか

たまんねえ



この1年間…

いろんな奴らに
いいように弄ばれて…



私を監禁した
痴女の集団



プールで遭遇した
強引な輩たち…

「おれは
強引だつて
意味ないぜ？」

ただ
じゃれあってる
と思われたいけり

「痴女の監禁グループ」
のメンバーの一人

「おれは
強引だつて
意味ないぜ？」



このままじゃ
終われない

全員
忘れてはいない！

絶対に
許したりはしない！

必ず一人残らず
捕まえてやる…！！







胸をもまれて
わずか数秒

本当に一瞬で
私のカラダは
ダメな状態に
なってしまうて…



長年の
不感症を偽装してきた
反動だった

私のカラダは
快感に対して

まるで抵抗力がなくなって
しまっていた



乳首のあたりを
触られただけで



カラダの力も
抜けて



綿密な逮捕の計画とか
全部が真っ白に
されてしまつて



ギシ
ギシ
ギシ

気づいたら
座席に手を拘束
されていて…

痴漢たちの
ペースになって
しまつて

もう
そこからは
完全に



アンタのこと
覚えてるよ

1年前
〇〇のバスで
遭遇した美女だよな

何で…私は
いつも……!!
こうなつて
しまつんだ……!!



もう
こうなってしまったら
どうすることも
出来なかった

へへへ…
もっと気持ちよく
してやるよ

バスの座席に
手を拘束された
私は



1年前と
同じ相手に

1年前と
同じように…

ただ
ひとつ違って
いたこと

それは

1年前は
どんなに感じて
もイクことは
無かったけど

今は…



まずい…!

何なんだ
これは…!



以前と
違う…ッ!



快感が
抑えられない!



ダメだ!ダメだ!



このままじゃ…



1年前と違うこと
それは

少し触られるだけで
イッてしまうカラダに
なっていること

胸だけで
イッてしまった
私を見て

男たちが
ほくそえんでいる

あれ？
まさかイッちやった？

屈辱でしか
なかった

それでも







ああ…ダメだ…!!

イカされると

二瞬
頭が真っ白になって

何も出来なくなつて…!!

カフタがますます
鋭敏になつて…!!

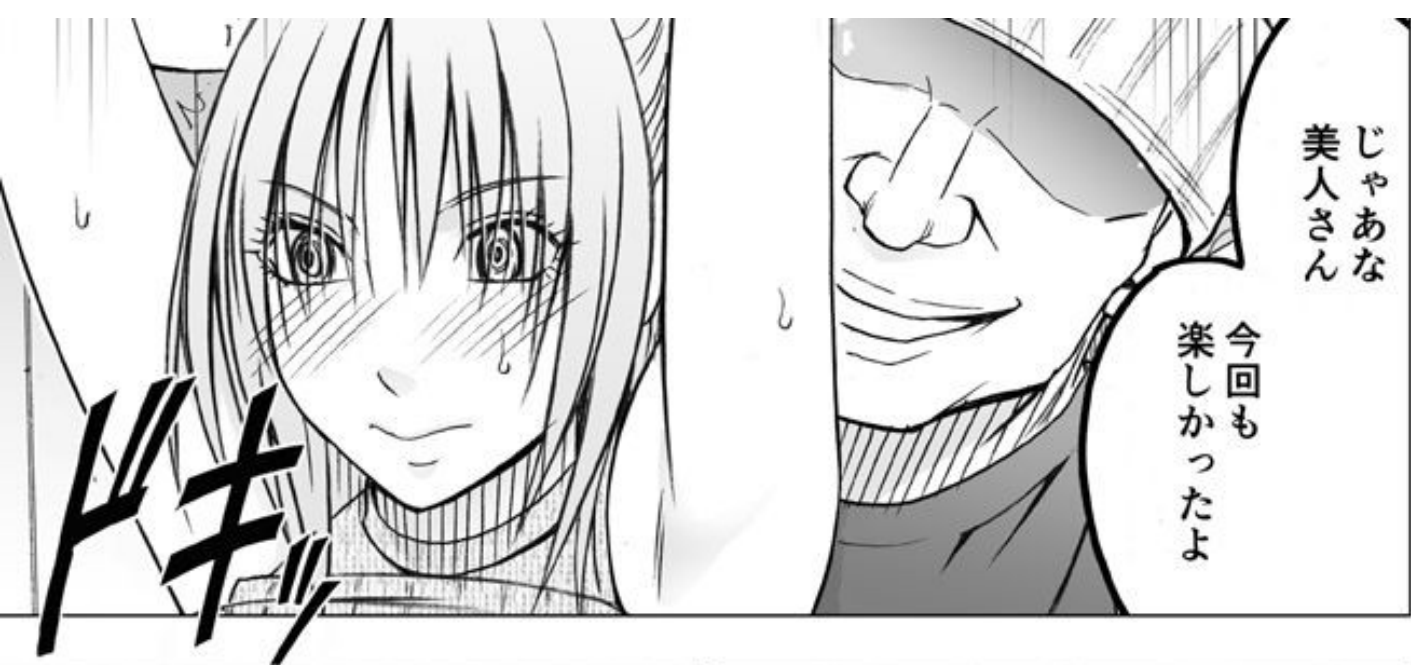
触られ続けると
また連続で…!!

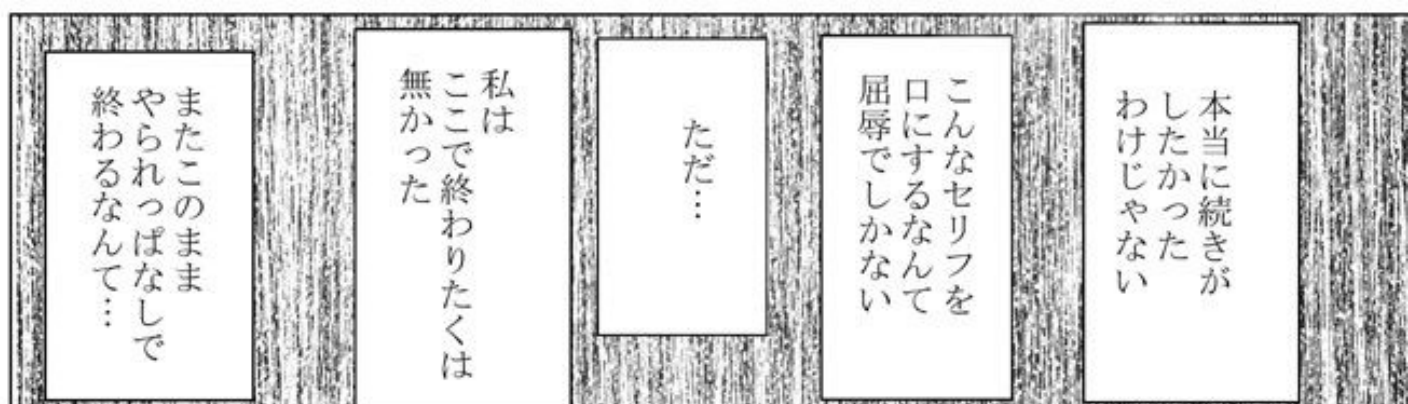
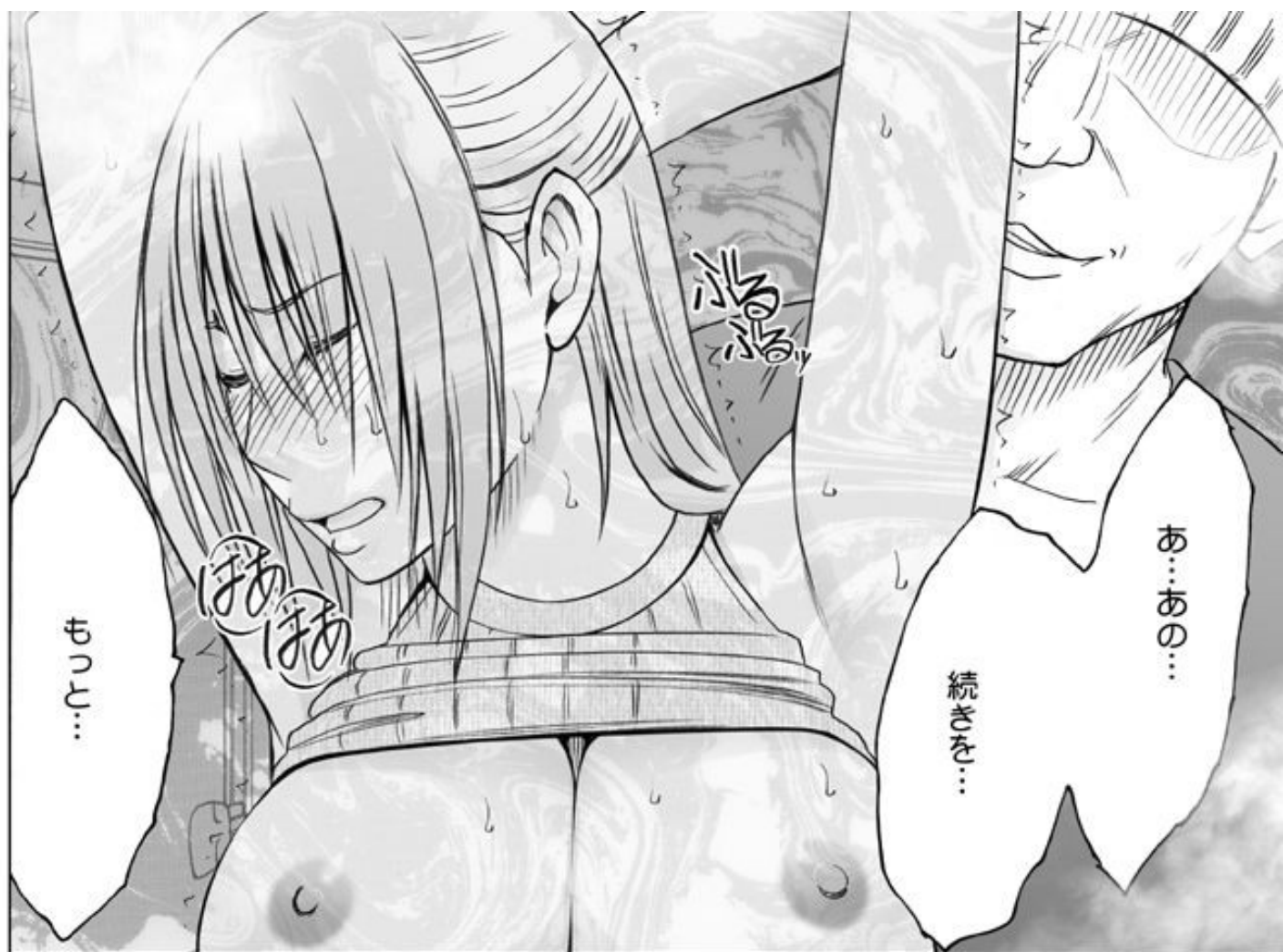
本当に
気持ちよすぎて
何も出来ない!!

もう…
何も…!!

ダメだ…
このままじゃ…

このままじゃ私…





私がもう
堕ちたのだと
思い込んだ男たちは

そのままバスを降りて
私を自分の家に
招き入れた

うまく自宅の住所を
突き止めることに
成功した

そこまでは
良かった

でも
用心深い男たちは

へへ…
この敏感
美巨乳で

思う存分
遊ばせて
もらおうか

部屋に入るなり
私を拘束して…







屈辱でしかなかった

作戦どころか

まるで自分から
淫らな尻に
はまりにいったような
ものだった



もみ
もみ
もみ





違う…！
私は…

気持ちよく
なりたいたなんて…！



相手を油断させるために

わざと演技しただけ！

本当に
もっと続きをだなんて
思っていなかった！



これは作戦！！

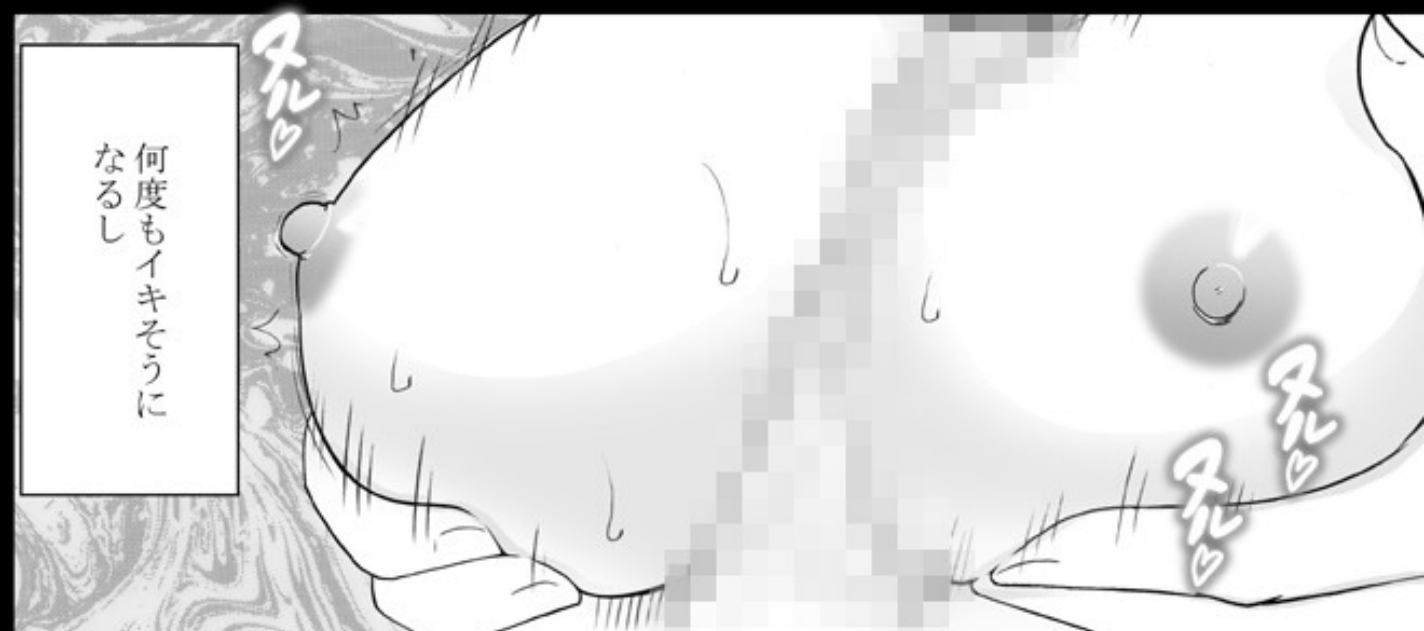
びん





そのまま
私は6時間近く

さまざまなグッズで
乳首を責められたり
媚薬で敏感にされたり



最後に
胸でしごかれながら
全員の精液を
顔にかけられ：

ふん

ひたすら胸ばかりを
責める拷問が
終わったのは
朝の5時頃だった……

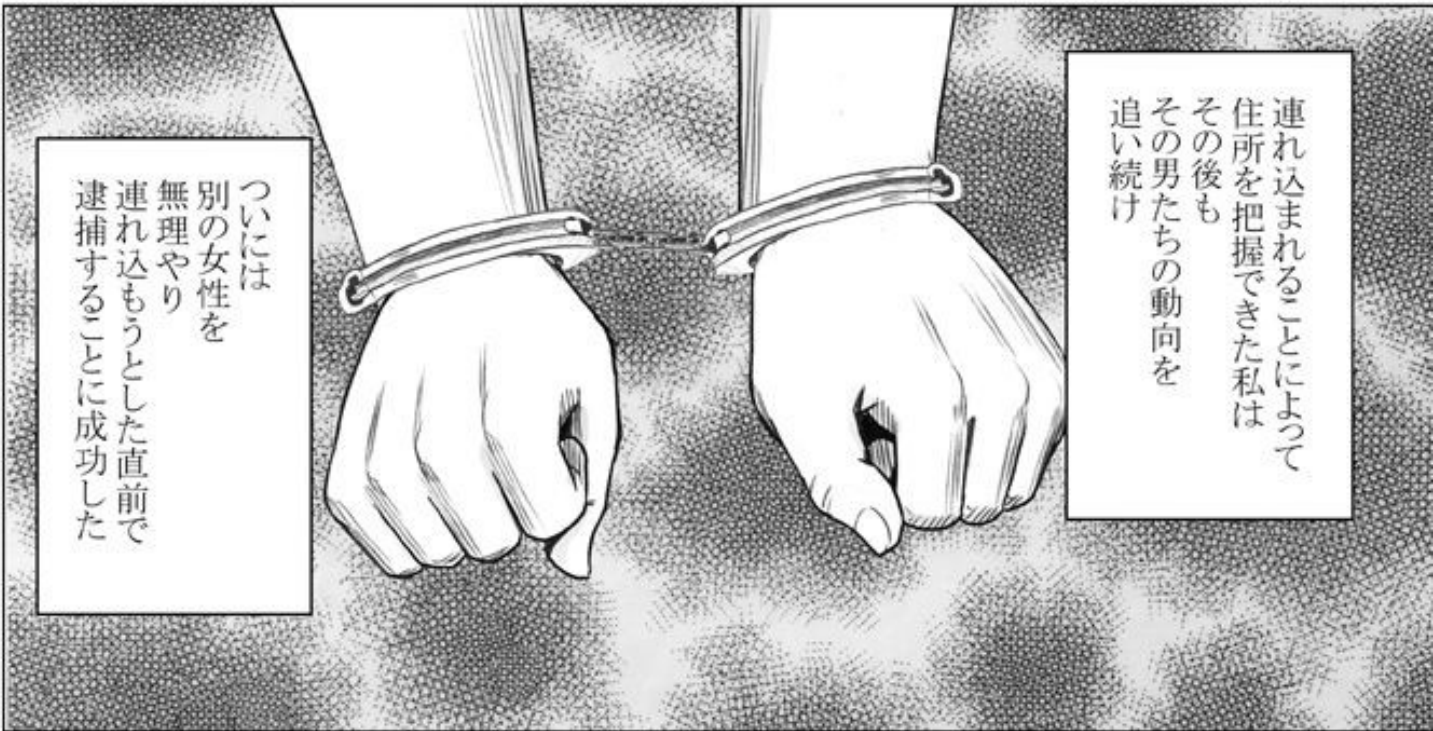


その日は
結局何もできなかった



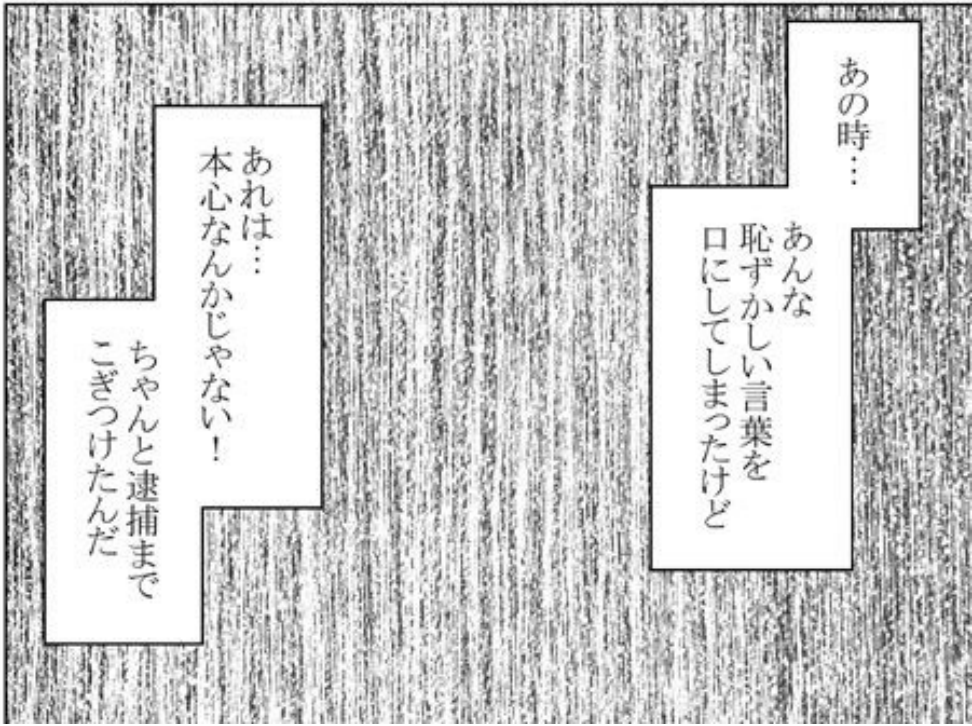
それでも…
私はあきらめなかった

ただでは
終わらせなかった



連れ込まれることによって
住所を把握できた私は
その後も
その男たちの動向を
追いつけ

ついには
別の女性を
無理やり
連れ込もうとした直前で
逮捕することに成功した



あの時…

あんな
恥ずかしい言葉を
口にしてしまったけど

あれは…
本心なんかじゃない！

ちゃんと逮捕まで
こぎつけたんだ



私は
少しだけプライドを
取り戻した

次のターゲットは

大型レジャープールで
多発しているという
集団痴漢事件だった

これも
おそらく

1年前に私が
遭遇した集団と
同じやつらのはず…

もう2度と
同じ過ちは
繰り返さない

今度こそ
全員捕まえて…

あのときの
屈辱を晴らす……！









ああ…ダメだ！

この前のあいつらに
やられすぎたせいで

乳首が敏感になった
ままだから…!!



乳首スゲー
敏感じゃん♡

こっちも
舐めちゃおう



感じる場合じゃ
ない…!

早く何とか
しないと…!

また「イン」で
無茶なことを
やられてしまう…!







やっ……

ダメだ……!

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

びん♡

胸だけでも
全然ガマンできないのに……!

ほらほら

♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

こんなの……!

なにこれ……!

びん♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡







もっこのカラダじゃ…

イカされるのをとめられない！

ズン

ズン

ズン



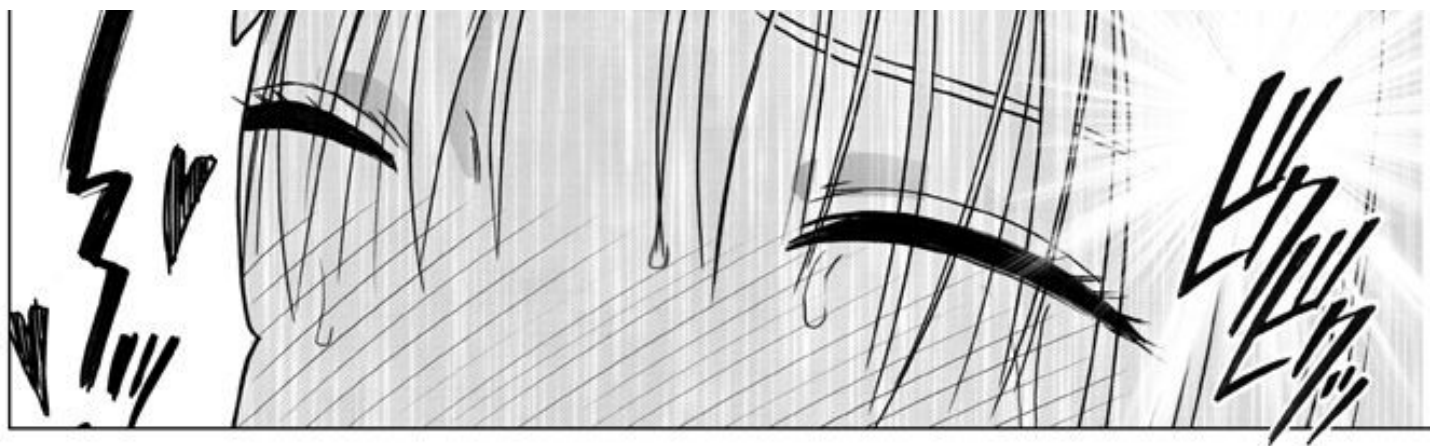


無理矢理
入れられて
イカされて

無力だった

力もまともに
入らないし

頭もまともに
思考することが
できなくて…





ちよつとちよつと
オネーサン
何回イッてんの？

ワス
ワス
ワス

そんなヘタクソな
男のチ●ポで
イッたらダメだよw

しゃぶッ



もう…
まともに
抵抗するのは
無理…

でも…

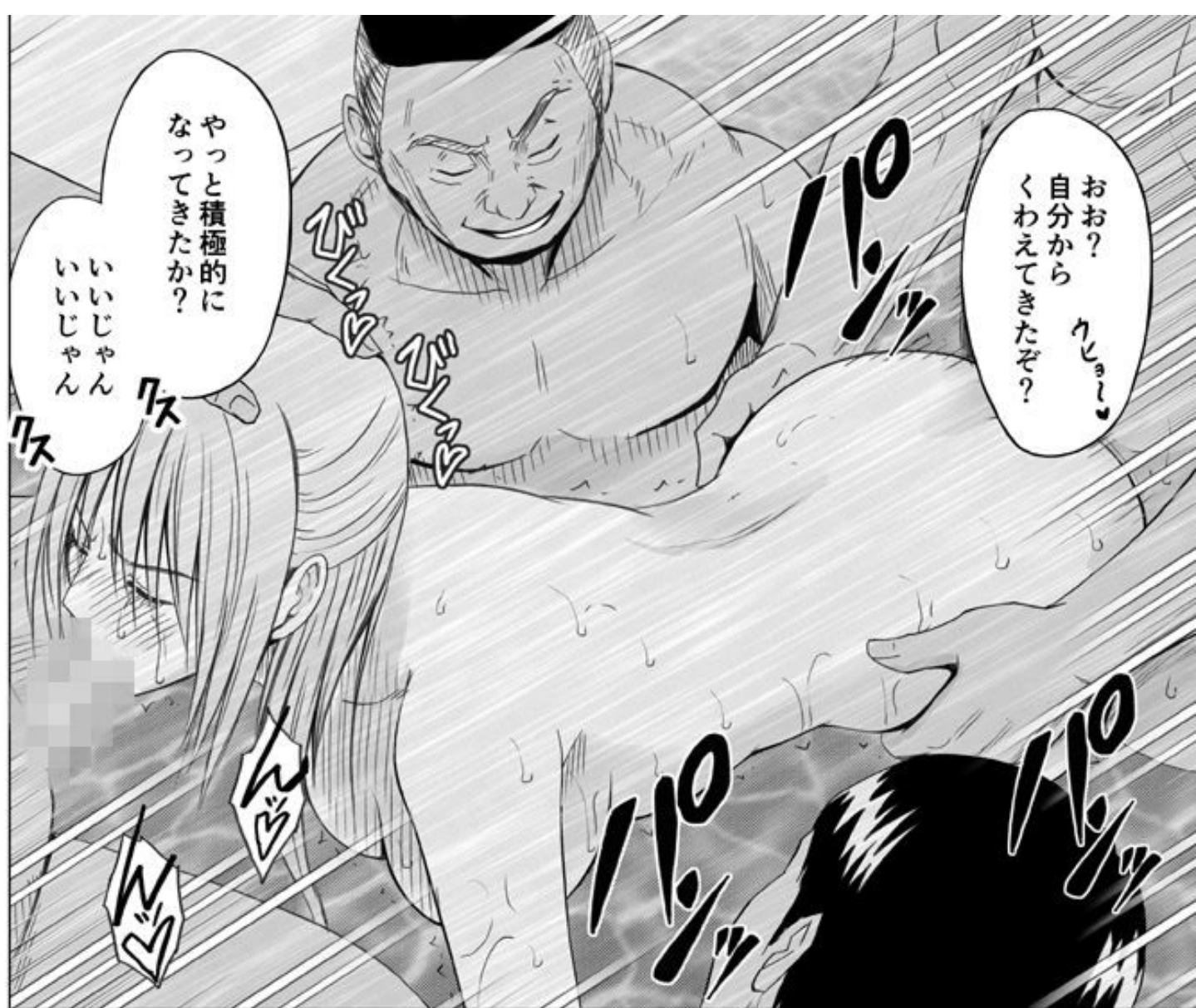
たとえ抵抗
できなかったと
しても

まだ
手はある…!!

この前みたいに
わざと
従順なふりを
すれば…

情けないけど

もう
それしかない!





心臓を
砕く



そのまま私は

プールに
併設された
宿泊施設の部屋に
連れ込まれて…

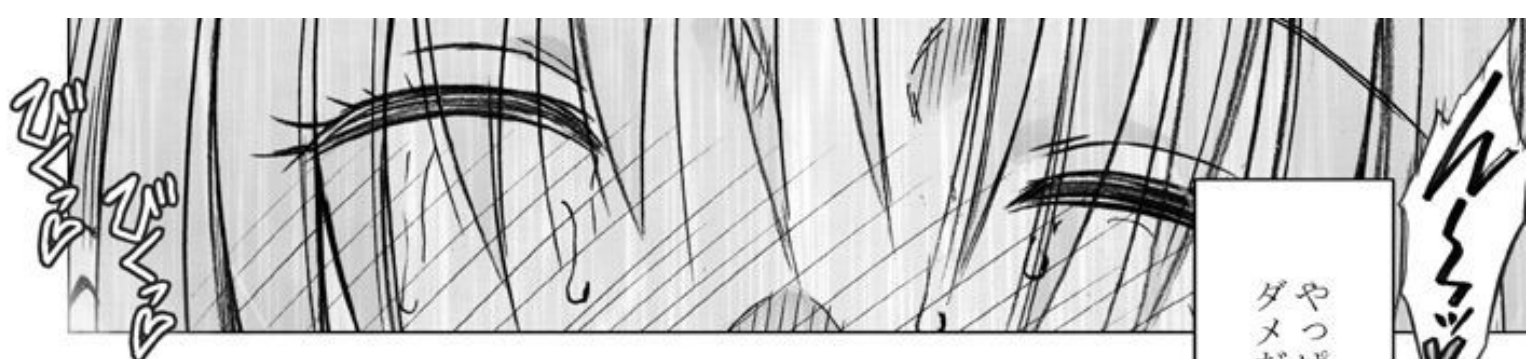


どうする？
このままココで
続けるよりも

ホテルで
もっとじっくり
やっちゃおう？



まわ
輪姦されて…



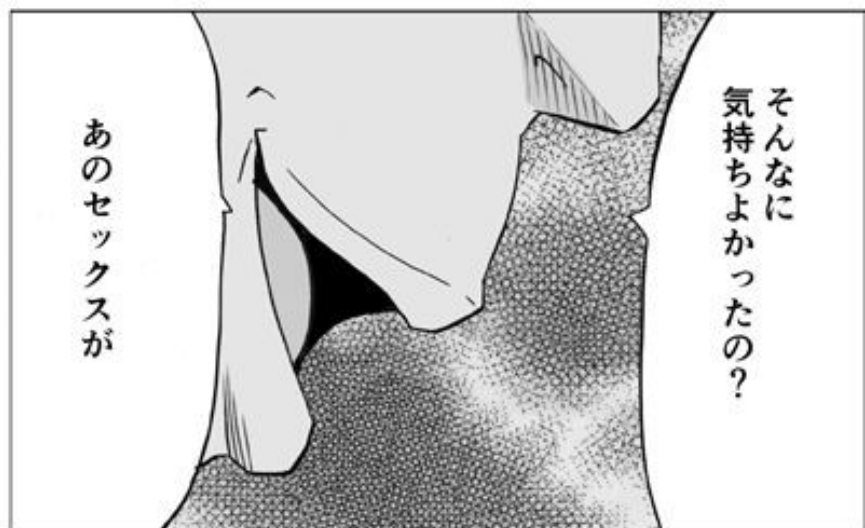
やっぱり
ダメだった



周りの目が
無くなったことで
有利になったのは
男たちのほうで

太い肉棒を
挿されっぱなしの
カラダは
ビクビクするだけで
全然思い通りに
動かないし

反撃する隙なんて
まったく無くて



セックス…

忘れられない…



違う…!!

私は…

快感を求めているわけじゃない!



またあの時みたいに
犯されたくて

痴漢囃し捜査を
やってるわけじゃないんだ!



違う! 違う!

絶対に…!!

私はそんな
はしたない女じゃない!!



大丈夫大丈夫

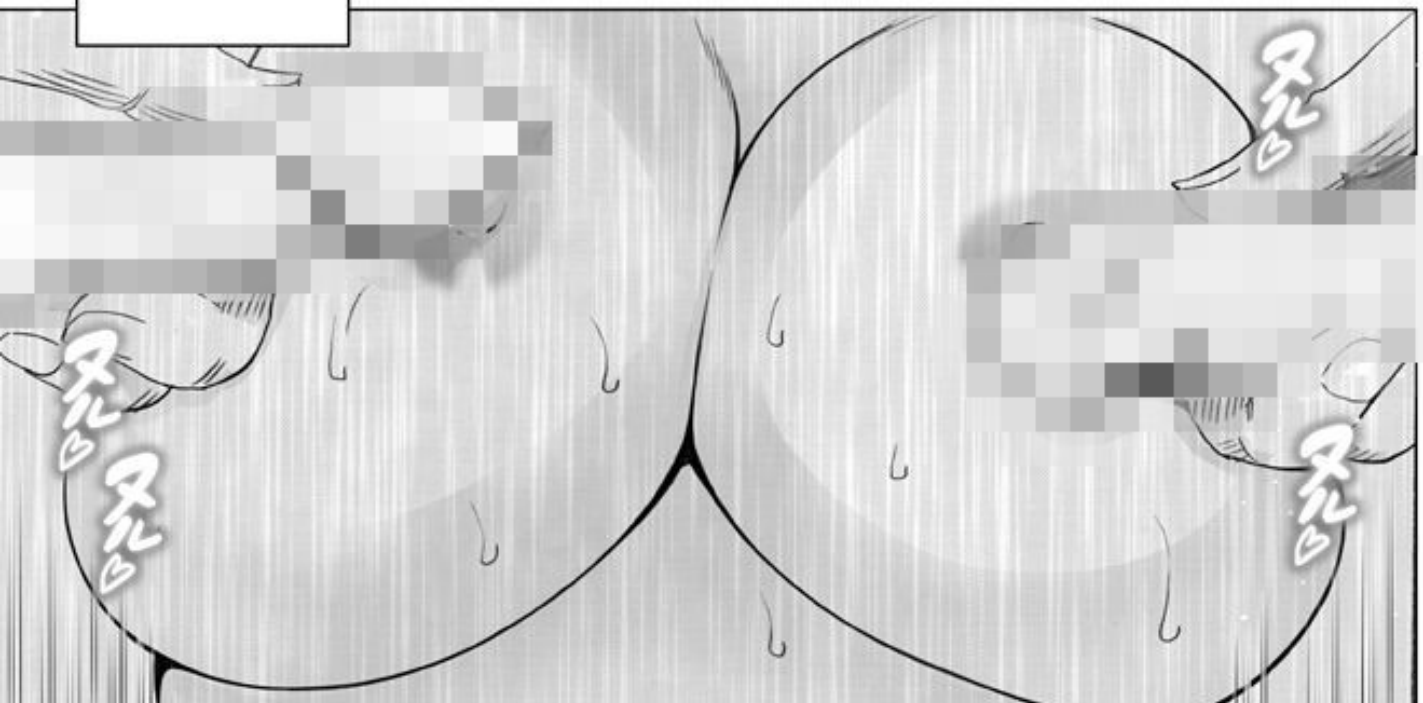
どうせ抵抗してても
乳首舐めとけば
イッちゃうんでしょ?



結局
その場にいる
全員が飽きるまで

何時間も
犯され続けて
イカされて…





じゃあ
これで
ラストねー

ありがとねー
淫乱美人さん
気持ちよかったよー

最後は
両手両足を縛られ
自力では絶対
脱出できない状態で

全員分の欲望を
ぶちまけられた…

また
遊ぼうねー

びゅんっ

びゅんっ



私とまた
遊びたいという男と

連絡先を交換することに
成功して…



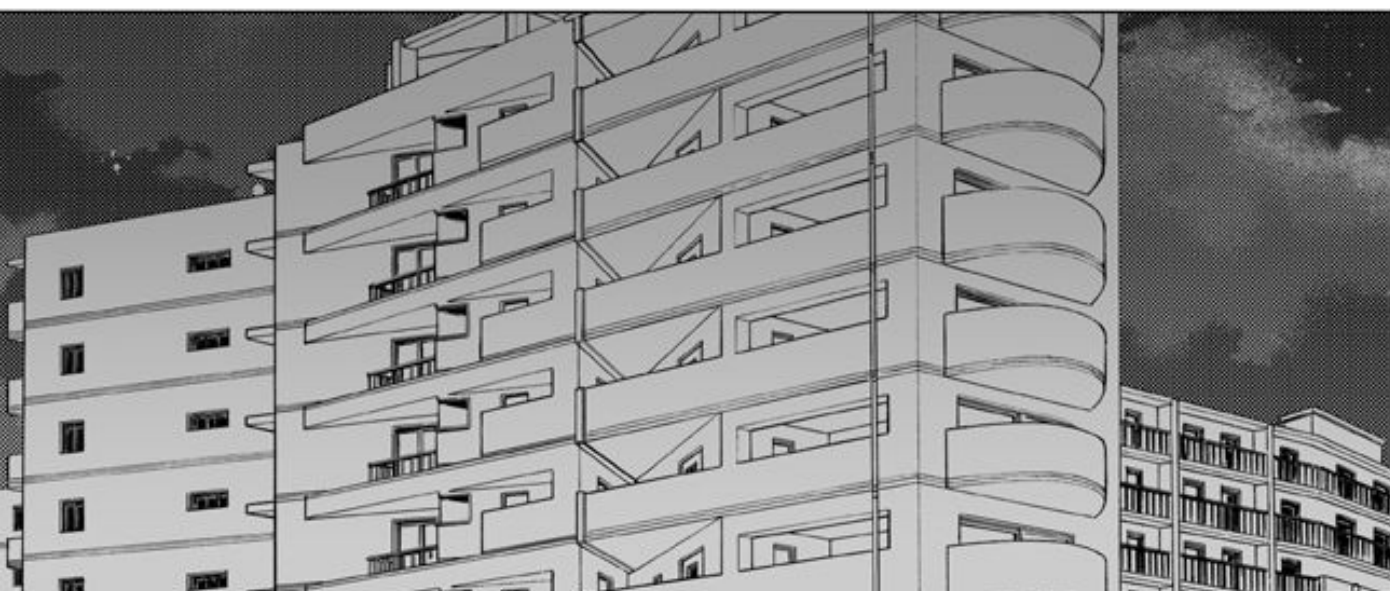
それでも
今回はそれで
終わらなかった

従順になった
フリをしたことが
功を奏した



それを手がかりに

別件で
彼らの所属する
大学の極悪サークルを
一斉摘発することに
成功した



私は…
負けてない…!!

私は
やられたくて…

自ら危険地帯に
とびこんでる
わけじゃない!

またあのときみたい
な快感を味わいたくて…

痴漢図捜査を
やってる
わけじゃない!

私は
疼きがおさまらない
カラダに

そう
言い聞かせた…